

No.1 多発しているその他の起因物 - その他の死亡災害事例（2021年）

2021年発生月	発生時	死亡災害事例	業種 (小) コード	起因物 (小) コード	事故の型 コード	労働者規模
10	16～18	新型コロナウイルスに感染していた児童の濃厚接触者となり、感染した。医療機関において療養中であったが、新型コロナウイルス感染症により死亡した。	130201	911	90	1～9
9	0～2	被災者は清掃作業員として朝に同僚4名とともに清掃委託元へ向け社車で会社を出発し、現地で清掃業務を行った後、夕方に社車で帰社した。同乗した同僚の中にコロナ感染者が出たことが翌日に判明し、被災者は濃厚接触者として自宅待機となり、後日、陽性反応が出た。その後も自宅療養していたところ、容態が急変し死亡したものである。	150101	911	90	100～299
9	6～8	新型コロナウイルス感染症による。一度体調不良で早退し、その後の体調不良で欠勤していた。後日入院となり、治療を受けていたが、後日死亡したものの。	40301	911	90	1～9
9	18～20	新型コロナウイルス感染症による。被災者はガスタービン部品の分解と点検工事をするための準備作業に従事していたが、後日新型コロナウイルス感染症の陽性が判明した労働者と現場の事務所内でミーティング及び現場における作業を行っていた。熱の症状が出たため、PCR検査を受けたところ、陽性と判定され、自宅待機となったが、その後症状が悪化し、病院に入院したものの、後日、当該感染症による肺炎で死亡した。	30302	911	90	30～49
8	0～	新型コロナウイルス感染症による。8月下旬に発熱が認められたため、検査した結果、新型コロナウイルス感染が判明。当日は勤務せ	140201	911	90	10～

	2	ずに帰宅したが、その後連絡がなく、9月上旬に死亡した旨、遺族から連絡があったもの。				29
8	18 ～ 20	新型コロナウイルス感染症による。コロナ陽性者とミーティングを実施。数日後発熱。PCR検査実施して陽性となり療養開始。その後重症化9月上旬死亡。	170202	911	90	100 ～ 299
8	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。発熱があり、後日新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に係るPCR検査を受検したところ、陽性と判定された。陽性判明翌日から自宅待機、その5日後から入院しており、約1か月後に死亡したもの。	40301	911	90	100 ～ 299
8	12 ～ 14	新型コロナウイルス感染症による。訪問介護で利用者宅を8か所巡回し、PCR検査の検体採取の業務を看護師として行っていた。また、以前には事業内において利用者に対して食事介助の業務を行っていた。その後、発熱があり自宅療養していたが、後日入院し、約3週間後に脳梗塞を発症して、死亡した。	130201	911	90	30～ 49
8	2 ～ 4	新型コロナウイルス感染症による死亡災害。被災者は警備員、病院の警備業務を行っていたところ感染したもの。勤務中に症状（咳）が現れ、翌日発熱したことから病院にてPCR検査を受けたところ陽性判定、以降自宅療養を続けていたが、症状が悪化。入院後、さらに、容態が悪化したため別の病院に転院するも病状は改善せず死亡した。	170201	911	90	50～ 99
8	22 ～ 24	新型コロナウイルス感染症による。被災者は、2日間交替勤務を午前8時から午後4時まで行った。その後発熱し、翌日に検査を行って陽性と判明した。同じ休憩室使用している同僚のうち被災者最終出勤日前後の2日間で、3人に発熱症状があり陽性が確認されている。約1週間後に入院し、数日後転院して、9月上旬に死亡した。	11101	911	90	500 ～ 999
8	8 ～	新型コロナウイルス感染症による。事業所内で新型コロナウイルスの感染者が発生し、濃厚接触者としてPCR検査を実施し陰性となったが、数日後に発熱し、検査で陽性となった。自宅療養後入院	40301	911	90	50～ 99

	10	し、その後9月上旬に死亡したものの。				
8	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。令和3年7月に、元請職員が新型コロナウイルスに感染したことから、被災者を含む関係請負人等に対して抗原検査を実施したところ、陰性であったものの、その後、微熱と倦怠感の症状があらわれ、PCR検査で陽性となった。当初は自宅療養をしていたが、症状が悪化し入院。入院加療中であつたが、死亡した。	30203	911	90	1～9
8	16 ～ 18	新型コロナウイルス感染症による。当該被災者は、現場監督として、病院、社会福祉施設等の現場立ち合いを行っていたが、新型コロナウイルスに感染し、ホテル療養をした後に、入院先の病院で死亡したものの。	30201	911	90	100 ～ 299
8	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者は、店舗（事業場性無し）で勤務していた。同フロア内で勤務していた者が新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受け、被災者は自宅待機となった。その後PCR検査を受検し、陽性判定を受けた。さらにその後、症状が悪化し入院、後日死亡した。	170209	911	90	50～ 99
8	14 ～ 16	新型コロナウイルス感染症による。勤務地内で接触があつた別の労働者が自宅で発熱し、翌日PCR検査を行った結果、陽性反応（中等症II）が見られ入院となった。被災労働者本人は発熱がありPCR検査を実施し、陽性判定となり入院。後日死亡したものの。	80209	911	90	10～ 29
8	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染による肺炎によるもの。職場で複数の感染者あり。発熱し、PCR検査により陽性判定、入院し、後日死亡したものの。	130201	911	90	1～9
8	8 ～ 10	新型コロナウイルス感染症による。事業場の入居するビルにてコロナウイルス感染者が複数発生。被災者は自宅にて死亡。	80109	911	90	10～ 29
	0	新型コロナウイルス感染症による。事業場（建設現場）にて新型コ				

8	～ 2	ロナウイルス感染者が発生、濃厚接触者である被災者もPCR検査の結果、陽性判明し、入院、治療の後、死亡した。	30209	911	90	1～9
8	～ 2	被災者はタクシー乗務員として勤務、発熱した数日後自宅で倒れ、翌日に救急車で病院に搬送され入院治療をしていたが、数日後、新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	40201	911	90	100 ～ 299
7	～ 2	新型コロナウイルス感染症の感染が後で判明した労働者と出張した際、自動車内の同乗や会議の出席など、長時間を行動を共にしていた。受検したPCR検査により陽性が判明し、数日後38度の高熱があり、容体悪化により、病院に入院して治療を受けたものの、死亡した。	170209	911	90	300 ～ 499
7	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症による。のどの痛みを訴え、数日後には喉の痛みは和らいでいた。さらにその後日、体調不良により早退し、翌日のリモート会議に15分間出席。同日従業員が連絡するも応答がないため、異変を感じマスターキーで部屋に入ったところベッドで死亡。新型コロナウイルス感染症が疑われ、後日PCR検査にて陽性が判明したもの。	80109	911	90	50～ 99
7	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。当該事業場内で新型コロナウイルスのクラスターが発生し、被災者も発症した。PCR検査を受けた結果陽性判定となり、自宅待機後、その後入院し、約1ヶ月後死亡したもの。	40301	911	90	30～ 49
7	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による死亡。発熱症状があり、クリニック受診時にPCR検査を受け、陽性判明。同時期に同じ職場において被災者を除き、7名が新型コロナウイルスに感染。その後、病院へ入院したが、入院先で死亡した。	90101	911	90	30～ 49
7	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者が所属する部署において、別の労働者が発熱しPCR検査を受けたところ、新型コロナウイルスの陽性判定となり、同日被災者も発熱したため翌日PCR検査を実施したところ、陽性判定となった。その後容態が悪化し、	30202	911	90	100 ～ 299

		自宅で死亡した、				
7	16 ～ 18	自宅にて倦怠感を覚え、その後発熱し、死亡した。症状発症時期 に職場内で感染者が発生しており、業務引継ぎ等で接触があったと 確認されている。	170201	911	90	100 ～ 299
7	16 ～ 18	被災者は、新型コロナウイルスに感染し、死亡した。	130201	911	90	30～ 49
7	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症による。従業員1名に新型コロナウイルス 感染症の感染が確認されたため、被災者を含む従業員及び利用者 に検査を実施したところ、被災者が陽性と診断された。被災者は同 日からホテル療養を開始し、その後医療機関に入院したが、死亡し た。	130201	911	90	10～ 29
7	8 ～ 10	被災者は、ドライバーとトラックに同乗し配送を行っていたが、ド ライバーが発熱しPCR検査を受けたところ、新型コロナウイルス に感染していることが判明。被災者もPCR検査を実施したとこ ろ、陽性判定となった。被災者はその後容体が悪化し、敗血症によ りに死亡した。	40301	911	90	30～ 49
7	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者は当該事業場で接客・販 売業務を担当していた。発熱のため早退したが、2日後は出勤して 職域接種で新型コロナウイルスのワクチンを接種した。後日、再び 発熱し、その後、出勤と欠勤を繰り返していたところ、自宅で死亡 が確認されたもの。	80209	911	90	100 ～ 299
6	0 ～ 2	新型コロナウイルスに感染して緊急入院するも、新型コロナウイルス 肺炎により死亡したもの。勤務地はパーテーションで区切られ た教室内で通気性はよくなく、教育事業という特性上、生徒、講 師、保護者との面談等が頻繁にあり、近距離での会話が避けられな いなど、感染リスクが高い業務であった。	120109	911	90	1～9
		建設工事現場で内装の解体作業に従事していた被災者が、発熱の症				

6	0 ～ 2	状が出て、PCR検査で新型コロナウイルス感染症の陽性判定となり、入院治療後に死亡したもの。本件建設工事現場では、被災者の他9名の労働者がPCR検査で陽性判定されている。	30201	911	90	1～9
6	0 ～ 2	緊急事態宣言下、頻繁な移動を伴う出張を繰り返し、多人数の業務関係者と接する中、被災者は新型コロナウイルスの感染の症状が現われ、受診した翌日PCR検査で陽性が判明し、数日後死亡した。	170209	911	90	50～ 99
6	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者はタクシー運転手であり、勤務終了後に帰宅したところ、37.7度の発熱があり、数日後に病院にてPCR検査を受け陽性反応が出た。民病院に入院したが、死亡したものである。	40201	911	90	50～ 99
5	0 ～ 2	被災者は食品スーパーでレジ・品出し担当として勤務していた。発熱後、容体が急変し入院治療をしていたが「細菌性肺炎」で死亡したもの。なお、同一店舗で勤務する10名が感染しクラスターが発生していた。	80209	911	90	30～ 49
5	8 ～ 10	電気制御関連プログラム作成の為、事業場Aへ出張中、通勤途上のスーパー駐車場で倒れているのを通行人に発見され、救急搬送された病院で死亡した。検査の結果、コロナ関連肺炎と診断されたもの。出張先において、濃厚接触者7名が認定され、うち隣席の1名が陽性者であった。	11009	911	90	50～ 99
5	0 ～ 2	被災者は、新型コロナウイルスに感染していた同僚の労働者とともに同一の事業場内で勤務していたことから、同ウイルスに感染したもの。感染源となった同僚が陽性判定を受けたため所属事業場が休業となり、被災者は自宅待機していたが、後日、亡くなっているところを家族に発見された。なお、被災者は亡くなる数日前に体調不良となり、PCR検査を受け陽性であることが確認されている。	170209	911	90	30～ 49
	2	被災者は障害者の入居するグループホームに介護業務に従事。本年4月に施設内で新型コロナウイルス感染症の感染があったため、P				30～

5	4	～	ＣＲ検査を受検したところ陽性が判明。自宅療養、ホテル療養を経て、入院療養となり療養中であったが、新型コロナウイルス感染症による肺炎により死亡したものの。	130201	911	90	49
5	2	～	新型コロナウイルス感染症による。被災者は駅管区で駅業務に従事しており、発熱し、病院を受診。新型コロナウイルス感染症の陽性が判明した。その後入院し治療を継続したが、死亡した。同駅では、被災者の感染判明前後に複数名のり患者が発生している。被災者は勤務中常時マスクを使用していたが、日々の業務は、不特定多数の旅客等との近接や接触機会が多くあったことから、感染リスクは拭えない状況であった。	40101	911	90	100 ～ 299
5	18	～	昼食時に食堂で新型コロナウイルスに感染していた同僚の隣の席で食事をしていたため、新型コロナウイルスに感染して死亡した。同僚が陽性を確認され、被災者はその数日後、身体の痛み等を訴え、ＰＣＲ検査を実施、翌日に陽性と確認される。入院し、治療を続けていたが重症化して死亡した。	11209	911	90	10～ 29
5	18	～	被災者は、タクシー乗務員で、不特定多数の乗客と接触し、業務では医療機関への送迎もあった。被災者は、業務上の交通事故により、医療機関を受診した。その際に、交通事故による外傷は打撲傷などであったが、外傷精査で肺炎の疑いがあり、ＰＣＲ検査の結果、陽性が判明した。その後、被災者は、自宅療養した後、医療機関に入院し治療を継続していたが、死亡した。	40201	911	90	50～ 99
5	18	～	被災者はタクシー乗務員として勤務。発熱症状が認められ、ＰＣＲ検査を実施、新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受けた。その後、新型コロナウイルス感染症による肺炎により死亡した。	40201	911	90	500 ～ 999
5	10	～	被災者は、海外出張先の土木工事現場で施工管理に従事していた。朝に風邪のような症状があり、数日後ＰＣＲ検査を受け陽性判明する。入院して酸素吸引と点滴を受けるも小康状態が続き悪化を案じてチャーター機で帰国する。日本国内の病院で治療を受けるが死亡	170101	911	90	10～ 29

		が確認されたもの。				
5	0 ～ 2	被災者は、新型コロナウイルスの感染が広がる中、窓口での接客業務に従事していた。発熱したためPCR検査を受け陽性が確認された後、数日後に死亡したもの。被災者は支店長職にあり、コロナ禍での出勤調整が行われる中、他の労働者より多く出勤し窓口での対面業務に従事していた。	90101	911	90	10～ 29
5	0 ～ 2	複数の同僚が新型コロナウイルスに感染した職場の同一フロアで勤務していたところ、被災者は新型コロナウイルスの症状が現れたため、同日PCR検査を実施したところ陽性と判明し、数日後に死亡した。	170209	911	90	100 ～ 299
5	14 ～ 16	被災者は同僚とともに会社所有の圃場で材料の検査を行い、同僚と車で移動中に車内で打ち合わせ、翌日会議室で打ち合わせを行った。同僚が新型コロナウイルスに感染していることが判明し、後日、被災者も感染が判明し入院加療中であったが死亡したもの。	30199	911	90	1～9
5	0 ～ 2	タクシー乗務員である被災者が新型コロナウイルス感染症を発症したもの。	40201	911	90	30～ 49
5	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者が送迎していた労働者2名がPCR検査で陽性判定。数日後PCR検査を実施し、陽性判定、入院したが死亡したもの。	170101	911	90	30～ 49
5	18 ～ 20	新型コロナウイルス感染症による。施設内調理場で、調理員として勤務。他の労働者が新型コロナウイルス感染症の陽性者となり、濃厚接触者と判断され、その後自宅療養となる。熱、咳の症状があり、PCR検査を実施したところ、陽性と診断される。数日後からホテル療養の後、自宅療養。被災者と連絡がとれなかったため、自宅に行ったところ、被災者が亡くなっているが発見された。	130201	911	90	100 ～ 299
	6	新型コロナウイルス感染症による。業務として行われた取引先との会食に、緊急事態宣言下にあった地域から参加していた取引先担当				

5	～ 8	者との接触があり、後日、医療機関でのPCR検査で陽性判定。その後加療を行っていたが、容態が急変し死亡。	30203	911	90	1～9
5	～ 12	新型コロナウイルス感染症による。自宅にて高熱を発症し、PCR検査を受診したところ陽性判定となる。そのまま自宅療養となり、数日後に容体が悪化し、亡くなったもの。	40201	911	90	100 ～ 299
5	～ 16	新型コロナウイルス感染症による。被災者が介護業務に従事していたところ、微熱などの風邪症状が生じ、PCR検査で陽性反応が出た。陽性判明後、すぐに帰宅し、以降は自宅待機をしていたが、重度の症状になっていたため病院に入院し、数日後死亡が確認されたもの。	130201	911	90	10～ 29
5	～ 20	新型コロナウイルス感染症による。隔日勤務の終了後、公休日に体調不良を訴え、翌日からの勤務を欠勤した。新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受け、入院加療していたが、死亡した。	40201	911	90	100 ～ 299
5	～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者が清掃業務を行っている病院内で新型コロナウイルス感染者が発生した。被災者は体調不良のため医療機関Aを受診、翌日別の医療機関Bで受けたPCR検査の結果が陽性判定となったため、同日医療機関Cに入院したが数日後死亡した。	150101	911	90	100 ～ 299
4	～ 2	新型コロナウイルス感染症による。コロナウイルス感染者の送迎を担当したことや、施設利用者の介護業務での接触があった為、濃厚接触者として保健所のPCR検査実施。結果、陽性と判明。発熱等の症状はなかったが、自宅待機期間中に症状が発生し、ホテル療養、その後、入院したが、数日後死亡。	130101	911	90	10～ 29
4	～ 10	新型コロナウイルス感染症による。同僚の新型コロナウイルス陽性者とともに車に同乗し、後日発熱。PCR検査にて陽性判明。医療機関にて入院中に死亡。	30209	911	90	1～9
	8	新型コロナウイルス感染症による。被災者が勤務する職場の同僚が				

4	~ 10	新型コロナウイルス感染症を発症した。被災者は体調不良のため受けたPCR検査で陽性判定となったので自宅療養していたところ、数日後に自宅で入浴中に死亡したものの。	80109	911	90	10~ 29
4	8 ~ 10	デイサービス職員と利用者全員の新型コロナウイルス感染にかかる検査を実施したところ、被災者が新型コロナウイルスの陽性判定の結果となったものである。	130201	911	90	100 ~ 299
4	6 ~ 8	新型コロナウイルス感染症による。被災者は医療機関においてマスク及び手袋を着用して清掃業務に従事していたが、入院患者に新型コロナウイルスの感染者が認められたため、当病院においてPCR検査を受けた。PCR検査の結果が陽性であったことが判明し、翌日入院したが、当日に容態が急変したため、転院し、後日死亡した。	150101	911	90	100 ~ 299
4	0 ~ 2	新型コロナウイルス感染症による。保育所で主に延長保育に従事する保育士として勤務。当保育所で新型コロナウイルス感染症に感染した職員が出たため、職場でPCR検査を受け、陽性と判明。その後発症し、死亡した。	130201	911	90	50~ 99
4	10 ~ 12	入院病棟において新型コロナウイルス感染症の陽性判定となった患者が3名確認され、被災者は当該患者の食事、排泄及び介助等を行っていた。発熱症状があり他の医療機関でPCR検査を実施した結果、陽性と判明した。その後、自宅療養していたが状態が悪化し他の医療機関へ入院した。その後、状態が軽快したため他の医療機関へ転院したが再度状態が悪化し、死亡したものの。	130102	911	90	30~ 49
4	8 ~ 10	被災者が送迎していたデイサービスの利用者が新型コロナウイルス感染陽性であることが判明した。被災者が濃厚接触者としてPCR検査を受検し、陽性判明。入院し、治療開始。後日死亡。	130201	911	90	30~ 49
4	4 ~	新型コロナウイルス感染症による。38.7度の発熱が生じたため、翌日にPCR検査を受検したところ、陽性判定となり、ホテル療養を開始した。しかしながら39度の発熱が5日間続いたため、	40201	911	90	100 ~

	6	入院するも、死亡したもの。				299
4	12 ～ 14	被災者は警備員で、同僚と引継をしたり、警備業務で不特定多数の人間と接触していた。同僚が新型コロナウイルスに感染していることが判明し、被災者は医療機関を受診した。その後、発熱等の症状が現れ、PCR検査で陽性となり、新型コロナウイルス感染症と診断された。以降、自宅療養していたが、自宅で新型コロナウイルスによる肺炎で死亡した。	150101	911	90	50～ 99
4	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症による。被災者はタクシー乗務の勤務終了後に体調不良となり、診療機関でPCR検査を実施。検査の結果「陽性」と判断され、その後、保健所の指示により自宅待機を行っていた。その後、自宅待機中の数日間連絡が取れなかったため、同僚が自宅を訪れたところ、既に死亡していたもの。	40201	911	90	100 ～ 299
3	14 ～ 16	新型コロナウイルス感染症による。業務中（医薬品配置訪問販売）に体が痛くて、とてもだるく、発熱の症状が見られたため、PCR検査を実施したところ陽性判定を受けた。自宅待機後に入院していたものの、死亡したもの。	80209	911	90	1～9
3	10 ～ 12	スーパーマーケット店舗の複数人の労働者が新型コロナウイルス感染症に感染し、クラスターに認定されたことを契機に、店舗労働者全員に対してPCR検査を実施したところ、同日に陽性判定となった。自宅療養等を行っていたものの、死亡したもの。	80209	911	90	30～ 49
3	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。1回目のPCR検査では陰性であったものの、後日、下痢の症状及び体調不良が認められた。その後容態が急変し、救急搬送され、PCR検査で陽性が判明するとともに死亡が確認されたもの。	130201	911	90	1～9
3	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。他の労働者において新型コロナウイルスへの感染が判明したことから、PCR検査を行い、翌日に陽性反応が確認された。以降、医療機関で入院加療中であった	30199	911	90	10～ 29

		が、死亡が確認されたもの。				
3	16 ～ 18	新型コロナウイルス感染症による。被災者は施設利用者（後日、陽性が判明）を軽自動車で送迎した。また同日に他のスタッフ1名（後日、陽性が判明）と業務の引継ぎを行った。保健所のPCR検査で新型コロナウイルス感染症の陽性が判明（この時点では無症状）。宿泊療養施設に入所、その後発熱し、自室で死亡しているのが発見された。	130201	911	90	50～ 99
3	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。施設利用者が発熱し、新型コロナウイルス感染の陽性と判定された。被災者は同施設に介護職員として勤務しており、コロナウイルスに感染した施設利用者とは接触していた。発熱し、PCR検査で陽性反応が出たため、治療を受けていたが、入院先の病院にて死亡したもの。	130201	911	90	10～ 29
3	12 ～ 14	被災者は、訪問介護ヘルパーとして、利用者宅での家事業務及び買物、通院同行等の介護業務に従事していた。被災者は、倦怠感・咽頭痛の症状があり、医療機関を受診し、PCR検査を受けた結果、陽性となり、「新型コロナウイルス肺炎」と診断された。その後、入院し、療養していたが、「新型コロナウイルス肺炎」を死因として、死亡した。	130201	911	90	30～ 49
2	8 ～ 10	新型コロナウイルス感染症による。社会福祉施設に看護師として勤務していたが、当該社会福祉施設にて新型コロナウイルスのクラスターが発生し、当人も発症。PCR検査を受けた結果陽性判定となり入院。その後、死亡したもの。	130201	911	90	100 ～ 299
2	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。施設内にて、新型コロナウイルス感染利用者の介助（食事、排泄等）業務を行い、PCR検査を受け陽性となり入院中であったが、死亡したもの。	130201	911	90	100 ～ 299
	0	被災者は、出張のため、出張先（国外）へ到着後、2週間の隔離を終え、後日出張先国内で移動し、現地社員と会議や会食を行った。さらにその数日後の夕刻、会食予定場所に被災者が現れないことが				1000

2	～ 2	ら、宿泊ホテルに連絡したところ、居室で倒れているところをホテルの従業員に発見された。現地病院に緊急搬送されたものの、死亡が確認された。	170209	911	90	～ 9999
1	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。タクシー運転手として発症前14日間で177人を乗車させ、倦怠感が発症したが勤務を継続し、1月下旬に体調不良で早退後、救急搬送されPCR陽性となり治療を継続したものの数日後死亡。社内で他に5名が陽性。うち1名が死亡している（業務上外は現時点で不明）。	40201	911	90	30～ 49
1	10 ～ 12	施設利用者に新型コロナウイルス感染症の感染を確認。被災者は当該利用者の身体介助、食事介助等、身の回りの介助を行っていた。発熱の症状がでたため、PCR検査を受診、陽性判定となった。判定後は自宅療養となったが、呼吸症状が悪化し、救急搬送された。その後入院加療中であったが、後日、死亡した。	130201	911	90	10～ 29
1	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者は新型コロナウイルス感染症陽性者の治療を担当する医師であったが、体調不良となりPCR検査を実施したところ、陽性反応となったもの。入院療養を続けていたが、コロナウイルス感染症を直接死因として死亡したもの。	130101	911	90	100 ～ 299
1	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症による。病院2階にて新型コロナウイルス感染症にかかるクラスター事案が発生。病院内に新型コロナウイルス感染症が蔓延している最中、当該労働者の勤務場所は同病院2階から5階厨房へ変更になったが、後日、新型コロナウイルス感染症に罹患していることが判明したもの。治療の甲斐なく死亡。	10109	911	90	1～9
1	8 ～ 10	新型コロナウイルス感染症による。当該事業場施設内で新型コロナウイルス（COVID-19）感染症に罹患し、死亡したもの。	130201	911	90	10～ 29
1	8 ～	被災者はデイサービスの送迎運転者の仕事をしていた。事業場の他の職員が新型コロナウイルス検査で陽性となった。数日後、被災者	130201	911	90	10～

	10	は体調不良となり、38度の発熱があった。被災者の症状が悪化したため、病院に緊急搬送され、その後脳梗塞を併発し、死亡した。				29
1	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。38度台の発熱があったが解熱したため1月20日まで勤務を継続。再度、発熱したためPCR検査を受検し陽性判定。自宅療養していたが、様態が急変し、搬送先の病院で死亡。社内で他に5名が陽性。うち1名が死亡。	40201	911	90	30～ 49
1	12 ～ 14	新型コロナウイルス感染症による。被災者は、新型コロナウイルスに感染していると判明する前の利用者に対して訪問介護サービス（生活支援）を行っていた。その利用者の感染が判明した後、被災者は濃厚接触者と判定され、PCR検査を受けた結果、陽性と判断された。その後、療養していたが、新型コロナウイルス感染症により死亡した。	130201	911	90	10～ 29
1	10 ～ 12	事業者Aに所属する労働者が新型コロナウイルス感染症を発症していることが判明した。その後、同事業場内で7名の労働者が次々と新型コロナウイルス感染症を発症。被災者は、PCR検査で陽性となり、同日、病院に入院したものの、新型コロナウイルスの感染症による急性心筋梗塞の合併により心肺停止し、死亡した。	170201	911	90	50～ 99
1	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。介護施設に勤務中、従業員1名が新型コロナウイルス感染が判明。同じ施設内に勤務していた被災者はPCR検査実施、翌日に陽性が判明、自宅療養後、入院し、入院先にて死亡した。	130201	911	90	10～ 29
1	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。社内で新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生し、同時期に体調不良があった被災者もPCR検査で陽性が確認された。後日死亡。	11403	911	90	10～ 29
1	18 ～ 20	同じ職場の労働者が連日続けて新型コロナウイルスに感染。被災者（派遣労働者）は、風邪症状にて受診、同日検査の結果陽性となり、入院したが、後日死亡した。なお、当該事業場ではコロナ感染症のため、労働者複数人が休業している。	11203	911	90	100 ～ 299

1	16 ～ 18	新型コロナウイルス感染症による。社会福祉施設での訪問介護業務を担当していたところ、発熱し、その後新型コロナウイルス陽性判定となり、死亡したものの。	130201	911	90	10～ 29
1	20 ～ 22	新型コロナウイルス感染症による。発熱し、PCR検査を受け、新型コロナウイルスへの感染が判明した。事業場内において、被災者ほか3人の労働者に新型コロナウイルスの感染が確認された。その後、入院加療を続けていたが、死亡した。	40301	911	90	10～ 29
1	16 ～ 18	新型コロナウイルス感染症に感染し、死亡した。	130201	911	90	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_38.html